



広報

あしきた

4

2009.4.13 No.52

<http://www.ashikita-t.kumamoto-sgn.jp>

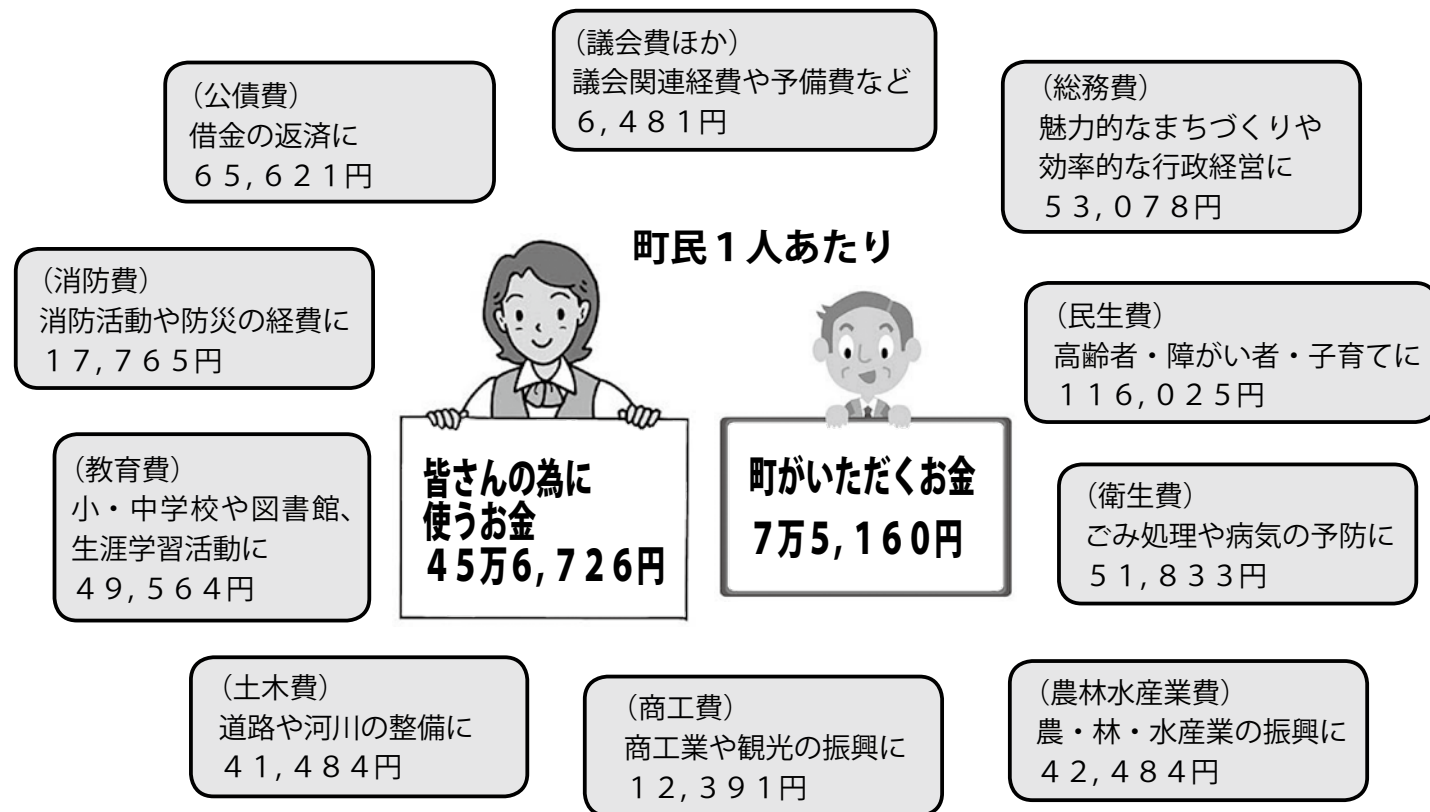


桜花爛漫

(御立岬シンボルタワーから3月26日撮影)

町の予算を町民1人あたりに置き換えると

町の「予算」をわかりやすく、少しでも身近に感じてもらうため、町民一人あたりに換算してみました。町民一人あたりの歳出予算額は「45万6,726円」で、一人あたりの町税額は「7万5,160円」となり、税負担の約6倍の行政サービスが提供されています。



(注) 住基人口20,682人(平成21年1月1日現在)で算出しています。

特別会計(水道会計含む) 総額62億977万4千円

特別会計と水道事業会計の総予算額は62億977万4千円で、昨年と比較して1億9,901万円減少しました。主な要因は、昨年度終了した老人保健事業の医療費支払い残額が減少したことにより3億4,400万円減少したことと、農業集落排水事業と簡易水道事業で昨年度に借金返済の前倒しを行ったことにより1億5,130万円減少したことです。

水道事業で予算額が増加しているのは、老朽化した花岡浄水場の電気設備更新工事の経費を計上しているためです。

会計名	21年度予算	20年度予算	増減額	増減率
国民健康保険事業	32億6,870万円	31億1,120万円	1億5,750万円	5.1%
老人保健事業	700万円	3億5,100万円	▲3億4,400万円	▲98.0%
後期高齢者医療事業	2億4,350万円	2億6,160万円	▲1,810万円	▲6.9%
介護保険事業	18億70万円	17億6,590万円	3,480万円	2.0%
簡易水道事業	7,660万円	9,910万円	▲2,250万円	▲22.7%
農業集落排水事業	2億9,870万円	4億2,750万円	▲1億2,880万円	▲30.1%
生活排水処理事業	6,110万円	8,700万円	▲2,590万円	▲29.8%
町有温泉事業	1億580万円	9,960万円	620万円	6.2%
奨学資金貸付事業	2,480万円	2,620万円	▲140万円	▲5.3%
公営企業(水道事業)	3億2,287万4千円	1億7,968万4千円	1億4,319万円	79.7%
合計	62億977万4千円	64億878万4千円	▲1億9,901万円	▲3.1%

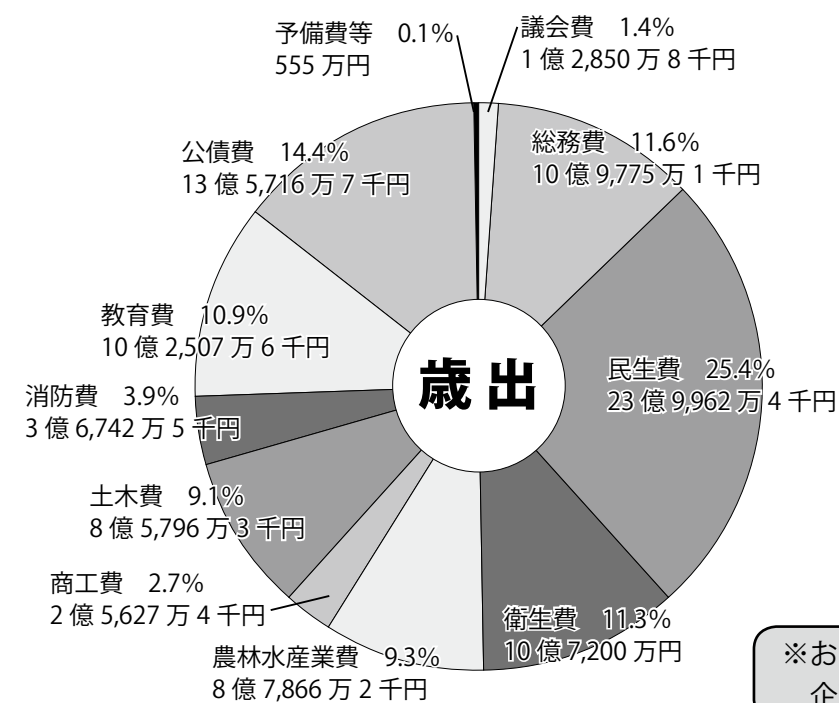
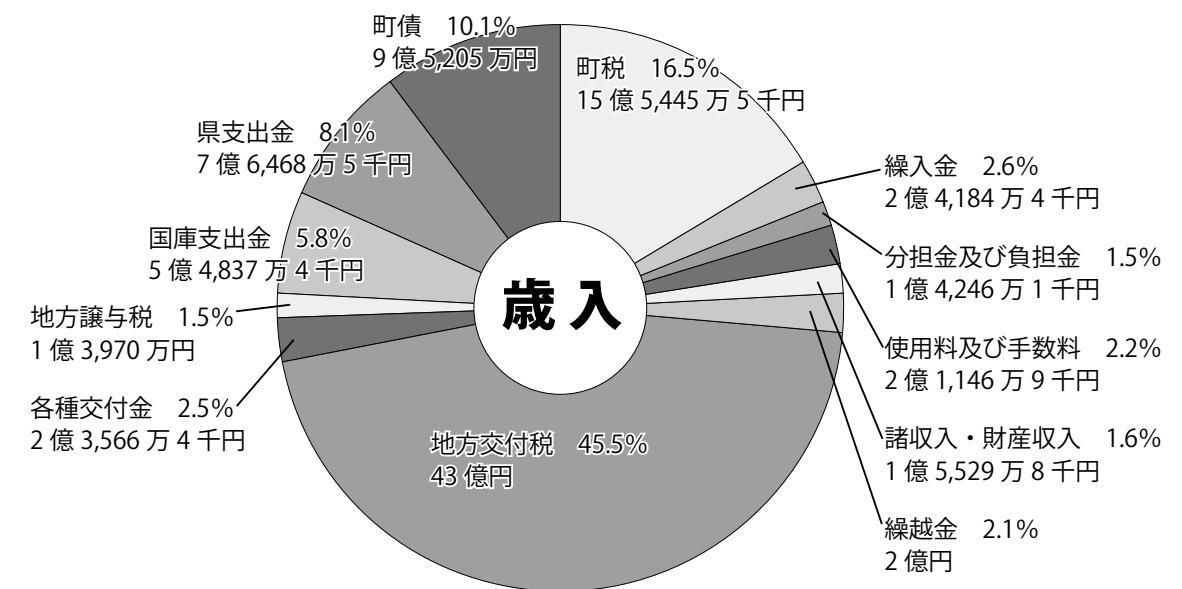
平成21年度 芦北町当初予算総額 156億5,577万4千円

限られた財源で、まちづくりの成果をいかに上げていくかに知恵を絞った新年度の予算がスタートしました。町にはどのような財源があり、どのように使われるのかについてわかりやすく説明します。

一般会計 総額94億4,600万円

一般会計とは、町の行政経営に必要となる基本的な経費を計上した会計のことです。予算額は昨年と比較して6,200万円減少しました。しかし、昨年度末に地域の活性化及び経済対策を目的に「地域活性化・生活対策臨時交付金」(2億8,466万円)が国から交付されたため、今年度取り組む予定の事業を前倒しで取り組んでいますので、その分も含めると1億8,551万円の増額となります。

歳入は、税収の多い自治体と少ない自治体の財政格差を軽減する措置がとられ、地方交付税が1億円増加しました。新たな借入れについては、持続可能な財政運営ができる範囲内に抑えています。



歳出は、新規事業として農村環境改善センターの改修費3億337万円、清掃センター芦北事業所解体整備工事費8,465万円、牛の水漁港整備事業費2,915万円、特別雇用対策事業費300万円等を計上しました。本年度が事業最終年度なる海浦漁港整備費2億4,350万円、小田浦地区及び湯北地区の排水対策事業費2億5,439万円も引き続き計上しました。

※お問い合わせ
企画財政課財政係 ☎ 82-2511 (内 251)

新年度予算の主な使い道（一般会計）

豊かな心の人づくり

岩崎グラウンド整備事業 1,683万円

グラウンドゴルフやサッカー、ジョギング等の定期的活動や各種イベントを開催し、スポーツを中心とした地域間交流ができるように、全面芝の多目的グラウンドの整備を行います。



星野富弘美術館管理運営事業 1,022万円

星野富弘氏の詩画作品を展示し、芸術文化の発展向上及び心の交流拠点として美術館を運営しています。今年度は、原画展の開催も予定しています。

農村環境改善センター改修事業 3億337万円

農村環境改善センターを、文化活動をはじめとする多目的な交流施設として利用していただくために、改修工事を行います。

カンボジア音楽教師・韓国自治体職員研修受入事業 396万円

カンボジアや韓国からの研修生を受け入れ、芦北町の有する様々な技術を習得していただくと共に、町民の皆さまが外国の方と触れあうことにより、海外の国を身近に感じてもらい、国際的な人づくりと地域の国際化の推進を目指す事業です。

特別支援教員派遣事業

1,628万円

学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）など障がいがある幼児・児童・生徒へ適切な教育的支援を行うため特別支援教員を配置し、良好な学習環境を確保する事業です。



人にやさしい快適なまちづくり



小田浦地区排水対策及び湯北都市下水路整備事業

2億5,439万円

大雨による冠水被害解消のためポンプ場、管渠等の実施設計委託及び工事を行う事業です。

浄化槽設置費助成事業

4,136万円

農業集落排水処理区域外で、浄化槽を設置しようとする町民（法人）に対して補助金を交付し、生活衛生環境の改善を図ります。

子ども医療費助成事業 5,271万円

子どもの健全な育成と子育て支援を目的として、医療費を助成する事業です。今年度から対象年齢が、これまでの「0歳から9歳（小学3年生）まで」から「0歳から15歳（中学3年生）まで」へと拡充されます。

障害者自立支援給付等事業 2億8,043万円

障害者自立支援福祉法に基づく障害者自立支援給付に位置づけられているサービスを障害者の方々に提供します。

清掃センター芦北事業所解体整備事業 8,465万円

業務の効率化を図るため、現在2ヶ所ある清掃センターを統合しますが、現在の施設では増大したゴミを処理することができないため、芦北清掃センターの煙突を解体し、新しい施設（ストックヤード）を建設します。

妊婦検診事業 1,600万円

安心して妊娠・出産ができるよう妊娠中の健康診査を助成する事業です。これまで5回の助成だったものを、今年度から14回に拡充します。



公営住宅改修事業 9,054万円

既存の公営団地の安全で快適な住環境を確保するため、火災報知器設置や外壁落下防止、水洗化改修等の改修工事を実施する事業です。

生活を支える基盤づくり

町道川嶽線改良事業 2,500万円

道幅が狭く、これまで通行がしづらく、危険だった「内木場口橋」の道幅を広くして、安全に通行できるように改良工事を行います。

公園維持管理事業 420万円

町民のみなさんの健康増進と憩いの場である町内各地の公園を、いつでも、だれでも、快適に利用できるよう管理するのに使う費用です。



生きがいある働き場づくり

芦北地区排水対策特別事業 1,000万円

芦北地域は、現在2つの排水機場がありますが、施設の老朽化と近年の降雨量の増大等により、冠水被害が年々増加し、農業経営に支障をきたしています。そこで、古くなった施設の廃棄と新しい排水機場の設置を行い、安定した農業経営の確立を図ります。（県事業負担金）

海浦漁港改修事業 2億4,350万円

海浦漁港は、防波堤及び物揚げ場等の施設が未整備で、これまでに台風等で多大な被害を被ってきましたが、今年度で本事業も最終年度となり、漁港の整備が完了します。

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 2,269万円

農山漁村の活性化につながる事業に対して交付金を支給します。今年度は、デコポンの収穫量の確保と高品質化による農業経営の安定化を図るため、デコポンのビニールハウスのリース助成事業に取り組みます。



芦北町木造住宅建築支援事業 2,000万円

町内産の木材需要の拡大と町民の定住促進を目的として、町産材を一定の割合使用した住宅を新築・改築・増築する方を支援する事業です。昨年度よりも補助上限額を引き上げ、事業の拡充を行います。

特別雇用対策事業 300万円

急激な経済情勢の悪化により、企業から雇用契約を解除されるなどして、安定した生活の維持が困難になった方の手助けになるよう、町が臨時雇用を行います。

効率的な行政組織づくり

広報紙発行事業 736万円

町民と行政との協働によるまちづくりが重要となっていく中で、様々な町の情報を積極的に分かりやすく住民の皆様へ提供して、町政への理解と協力を求めるために、毎月「広報あしきた」と「まちだより」を町内全世帯に配布しています。

花岡木崎遺跡から、一二〇〇年前の木簡が発見される

熊本県教育庁が南九州西回り自動車道芦北に建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査を行っている花岡木崎遺跡で、古代の木簡2点が出土しました。
木簡には、「佐色」「路次」「駅」などの文字が墨で書かれており、古代日本の交通制度である「駅伝制」を示す全国的にも貴重な資料となります。

発見された木簡

◆発見日時

平成19年12月5日

※発見後、独立行政法人奈良文化財研究所での保存処理が終了。

◆発見場所

花岡木崎遺跡（大字花岡字木崎）

◆発見原因

南九州西回り自動車道芦北に建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査

◆確認された文字

○1号木簡

（長さ17.5センチ 幅3.3センチ）

【佐色】地名の佐敷のこと、古代には「佐職」とも書かれた。

○2号木簡

（長さ14.5センチ 幅3.9センチ）

【発向】「くに行きなさい」という命令の意味

【路次】「くに向かう途中、道すから」という意味

【駅】駅家とも呼ばれた古代の役所の一つで、使者の休息や宿泊、乗り継ぎ用馬の飼育が主な業務であった。肥後国には16駅が置かれ、佐職（色）駅には駅馬5頭、伝馬（輸送用の馬）5頭が配置された。佐職駅の北には朽網駅（くたみえき）八代市二見？、南には水俣駅があった。

◆木簡の種類

公用文書（文書木簡）

◆木簡の時代

8世紀末～9世紀初め（奈良時代後半～平安時代初め）



花岡木崎遺跡から発見された木簡（左：1号木簡、右：2号木簡）
撮影：奈良文化財研究所

1号木簡

□〈於〉佐色□□□□

□ 文字数は確認できるが読むことができないもの
<> 書かれた文字が推定できるもの

2号木簡

〈発〉向路次駅□等

発見の意義

(1)花岡木崎遺跡が佐職（色）駅である可能性が高いこと

花岡木崎遺跡出土の木簡には、地名の「佐色」、道筋を示す「路次」、駅家の「駅」が書かれています。また、遺跡内からは役人用の装飾具の一部も出土しており、花岡木崎遺跡が古代の役所＝佐職（色）駅であった可能性が高

いと考えられます。全国的にも、発掘調査で「駅」が確認された例は2例しかなく、今後の調査成果が期待されます。

(2)県内出土の古代木簡として希少例であること

県内では、鞠智城跡（菊池市）での出土例に次ぎ、2例目です。

花岡木崎遺跡

花岡木崎遺跡は、南九州西回り自動車道芦北に一带に広がる遺跡です。この付近には、「古川」、「一番川原」という地名が残っていますが、発掘調査では佐敷川の古い流路が見つかっており、かつては川沿いに集落が営まれていたと推測されます。

出土した土器や陶磁器などから、主に古墳時代から江戸時代にかけての遺跡が続いていたことが分かりました。特に6世紀前半から8世紀末（古墳時代）から奈良時代にかけての遺構

（竪穴住居）や遺物（土師器や須恵器）が大量に出土しており、この時代が遺跡の中心だったと考えられます。特に8世紀頃の遺物には、今回発見の木簡のほか、今回発見の木簡のほかに土器にヘラで「田舎」、「麻呂」と書かれたものや役人用の装飾金具が見つかっており、古代の役所＝佐職（色）駅と付属する集落だったのでしょう。

また、中世（室町時代～戦国時代）の遺構面からは、11棟の掘立柱建物跡や村落の周囲をめぐる堀と思われる遺構のほか、青磁、白磁、銅銭など中国からの輸入物が出土しています。中世、近世（江戸時代）、近代（明治以降）と時代を連続する遺構が確認されていることから、佐敷村に関連する集落と考えられます。古代の駅家と関連集落を母体として、明治の頃まで連綿と人々が生活

出土した遺物



平成19年8月に行われた発掘体験学習会



平成19年2月23日撮影



「桝屋」 熊本県特別賞



3月19日(木)、県産材を利用する優れた大型木造施設等に贈られる第14回熊本県木材利用大型施設コンクールで薩摩街道佐敷宿交流館が熊本県特別賞を受賞しました。

「老朽化し使用されなくなっていた古民家の骨組みを生かし、元の建物の雰囲気を残しながら交流施設として再生させた。また、伝統的木造町屋の特徴も伝えている」と評価されました。

雨の中を快走



25回目を迎えた芦北うたせマラソン大会が3月22日(日)、芦北海浜公園・鶴ヶ浜海水浴場をスタート・ゴールに行われました。雨にも関わらず県内外から920人が参加し、20km、10km、5km、3kmの部で男女年齢別の22部門で健脚を競いました。

参加者は、雨の中、海岸コースを力走した後、大関米やマウンテンバイク等が当たる抽選会を楽しみました。

ガーナ共和国で国際協力



3月18日(水)、JICA(国際協力機構)の平成20年度4次隊青年海外協力隊員としてガーナ共和国(アフリカ大陸西部)に派遣される宮本武蔵隊員(芦北町職員)が出発のあいさつに訪れました。宮本隊員は、ガーナ共和国でも最貧困地域のアッパーウェスト州で、組織におけるプロジェクトの企画立案や運営管理指導者として各種プログラムの運営やスタッフの事務処理能力向上のアドバイスを中心に活動を行います。

ビーチボールバレー大会



3月8日(日)、芦北町地域資源活用総合交流促進施設の落成を記念して、だれもが楽しく参加できるビーチボールバレー大会を通じて健康づくり、体力づくり、仲間づくり及び施設の利用促進を図ることを目的として69チーム408人の参加で開催されました。各試合とも、好プレー珍プレーがあり真剣な試合の中に笑いがあつたりと参加した人たちは、心地よい汗を流していました。

山口ユキモさん満100歳



3月31日(火)、老人ホームに入所されている山口ユキモさんがめでたく満100歳を迎えられました。お祝いに訪れた内山福祉課長が長寿の慶祝金を贈り、お祝いの言葉をかけると、「ありがとうございます」とお礼の言葉を述べられました。

山口さんは、車いすを利用していらっしゃいますが、本を読むのが大好きとのこと。いつまでも元気にお暮らしになることをお祈りします。

スポーツ賞・文化振興賞



3月26日(木)、平成20年度芦北町スポーツ賞・文化振興奨励賞受賞式が行われました。今回は、金賞(全国大会で6位以内)8人、銀賞(九州大会で3位以内)12人、銅賞(県大会で優勝)22人及び指導者3人と特別賞2人の計47人が受賞されました。また、今年度から設けられた文化振興奨励賞(町内在住で優秀な個人、団体、指導者への顕彰を目的)に6人が受賞されました。

湯浦中体育館落成



3月12日(木)、平成20年7月に着工した、湯浦中学校体育館の改築工事が完了し関係者70人と湯浦中3年生が参加し落成式が行われました。新しい体育館は、総面積909㎡でバドミントンコートが3面とれる広さです。特徴は、木材を多く使用し大きな窓で明るさを確保しています。また、屋内から湯浦地区の四季折々の景色を展望できるようになっています。今後は、学校体育だけでなく地域のスポーツ振興にも活用していく予定です。

平成21年消防点検



3月15日(日)、平成21年消防点検が田浦運動場で、約700人が参加して行われました。観閲に引き続き保育園児、幼稚園児の通常点検と放水が披露され、団員による放水競技が行われました。

◆成績

【規律競技の部】1位 機動分団
2位 第7分団 3位 第8分団
【放水競技の部】1位 第9分団
2位 第2分団 3位 第4分団

子ども医療費の助成対象者を『中学生』まで拡充しました

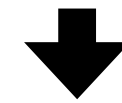
芦北町では、子育て家庭の負担軽減及び児童の健全育成を目的に子どもにかかる医療費の助成を行っています。このたび、次のとおり助成対象年齢を引き上げることとしましたのでお知らせします。

なお、対象となる子どもがいる世帯には、受給者証を送付していますのでご確認ください。



【現 行】

年齢が満9歳に到達後、最初の3月31日まで（小学校3年生まで）



【変更後】

年齢が満15歳に到達後、最初の3月31日まで（中学校3年生まで）

※新たに対象となった子どもは、平成21年4月1日以降の受診分から助成対象となります。
※助成内容 入院・通院・歯科・調剤にかかる保険診療の一部負担金が助成対象となります。ただし、入院などで高額療養費に該当する場合や付加給付（共済保険や健康保険組合などにはあります。）がある場合などは、その金額を控除した金額が助成対象となります。

※お問い合わせ 福祉課児童家庭福祉係 ☎82-2511（内線151）

特定保健指導を受けて・・・

平成20年度特定保健指導を利用されたAさんの実践報告をご紹介します。
Aさん（50代女性）は腹囲及び血糖値、血圧が基準値を超え、メタボリックシンドロームに該当、その為、特定保健指導を利用され、生活習慣の改善に取り組みされました。その結果、半年で体重は6.5kg減、血糖値やヘモグロビンA1cも下がりました。

★特定保健指導を受けてみようと思われた理由は？

「健康診査の結果がよくなく、メタボリックシンドロームとの判定を受け、自分の力で何とかしようと思い、次の日からウォーキングを始めました」

★半年間の生活習慣改善のための目標は？

「毎日、ウォーキングを45分、食事はゆっくり20回以上よくかんで食べることを目標にしました」

★半年間で工夫したところ、変わったところがありますか。

「2回目の特定保健指導でバランスよく食べることの勉強をし、朝、昼、夕、間食と食べた物を書き出し、そのカロリーを合計するのがおもしろくなってきました。買い物の時もカロリーの低い物を選ぶようになりました」

★半年間を振り返って、現在のお気持ちは？

「やってよかったと思いました。ウォーキングも何とかやっていける気がします。無理しないように楽しみながらがんばっていかうと思います」

★これから、生活習慣を改善しようと思っている人に“ひとこと”。

「生活習慣病は自分の心がけでよくなる病気だと思います。少しでも早いうちに病気を見つけ、早いうちに取り組みればよいように思います。皆さんにもまずは健診を受けて欲しいです」

※生活習慣病は体重の増加や血圧、血糖値などの上昇でも自覚症状のないまま体の中で密かに進行していきます。年に1回は特定健診を受け、自分の身体の状態をよく知り、生活習慣病から身を守りましょう。

お問い合わせ 保健センター ☎86-0200

お知らせ

国家公務員中途採用者選考試験（再チャレンジ試験）

人事院及び各府省では、国家公務員中途採用者選考試験（再チャレンジ試験）を実施します。

▼受験資格

昭和44年4月2日～昭和55年4月1日生まれの者

▼受付予定期間

6月23（火）～30（火）

▼選考日

9月6（日）

※受験案内等の請求方法

返信用封筒（角形2号、140円分の切手貼付、あて先明記）を同封した封筒に、「中途採用請求」と朱書きし、送付してください。

※お問い合わせ

人事院九州事務局第二課試験係
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2-11-1
☎092（431）7733
URL <http://www.jinji.go.jp/>

4月の町税等納期のお知らせ

軽自動車税

- 納期限 4月30日（木）
- 口座振替日 4月27日（月）

※口座振替の方は、残高不足にならないようにご確認ください。

日本学士院第50回公開講演会のお知らせ

5月23日（土）13時から16時10分まで、県民交流館パレアで、日本学士院公開講演会が、熊本で初めて開催されます。
（一）「熊本と刑法」東京大学名誉教授・松尾浩也会員（熊本県出身）
（二）「クローン動物生産技術の有効利用」京都大学名誉教授・入谷明会員
刑法に対する熊本県人の貢献や裁判員制度との関係、クローン食品の安全性やクローン技術を使った動物保護などについての講演会です。
※お問い合わせ・参加申込み 県企画課
☎096（333）2019

あそびReパークがNHKで放送されます

転倒予防などに効果があると言われている「ワニ」と「ヘビ」のゲームやその効果について紹介されます。
【番組内容】
▼番組名 ためしてガッテン「謎の骨折増加を追え」（仮題）
▼放送日 4月29日（水）
▼放送時間 20時～20時45分
▼放送局 NHK総合テレビ



環境センター5月のイベント

【裂き織り（大人・応用編）】

裂き織り教室（応用編）を実施します。使わなくなった布を裂いて、テーブルセンターやバッグを作ってみませんか？

▼期日 5月24日（日）
▼時間 10時～15時

田浦子育て支援センター 5月の行事

- 1日（金）わらべうたで遊ぼう
- 12日（火）絵本の読み聞かせ
- 19日（火）お散歩へ行こう
- 26日（火）身体測定・誕生会

◆利用時間 毎週月曜日～金曜日

10時～12時30分 15時～17時30分

※お問い合わせ

田浦子育て支援センター（田浦保育所内）
☎87-0034

お詫びと訂正
広報あしきた3月号に掲載した「城戸キクさん満100歳」（4p）の記事で、高岡の城戸キクさんとありましたが豊岡の城戸キクさんの誤りでした。お詫びして訂正いたします。

お誕生日おめでとう

H21.3.1～3.31 受付分（敬称略）

氏 名	出生日	性別	保護者	行政区
早稲田彩弓	2. 2 2	女	孝 也	田浦 4
那須 芹花	2. 2 3	女	誠 一	小田浦 5
立敷 心桜	2. 2 4	女	祐 一	花岡東
緒方 依真	2. 2 6	女	健	湯浦南
千年 悠聖	2. 2 7	男	潤 一	女島西
川島 颯惺	2. 2 7	男	和 宏	田浦町 1
山田 姫愛	2. 2 8	女	康 光	宮浦
中村 隼士	3. 6	男	浩	鶴木山
井川 瑛太	3. 7	男	達 也	湯南団地
倉本 春翔	3. 9	男	裕太朗	田浦町 1
桑田 椿	3. 1 0	女	幸 治	桑原
田中 春希	3. 1 1	男	英 之	田浦町 1
山下 遙仁	3. 1 3	男	忠	田浦町 1
楠原 琉翔	3. 1 7	男	浩 幸	乙千屋

※本町窓口へ届出を出された方で、承諾を得た方を掲載しています。
町外に提出された方で、掲載を希望される場合は、役場秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H21.3.1～3.31 受付分（敬称略）

死亡日	亡くなられた方	年齢	行政区
3. 1	江口 ノブ	9 3	乙千屋
3. 1	山下 キト	9 4	田浦 3
3. 2	井樋口ユキエ	8 5	湯浦南
3. 2	今村 亨	8 2	田浦町 1
3. 4	山下 吉松	8 4	計石西
3. 7	山内 國男	8 1	古石南
3. 9	西橋 守	7 5	芦北
3. 1 1	藤井 フサエ	7 9	宮崎
3. 1 2	中園 綾子	8 2	湯浦東
3. 1 4	木村 ハルエ	9 1	白木
3. 1 5	田井 昭	8 0	田浦町 4
3. 1 6	田中 シヅエ	9 9	伏木氏
3. 1 9	中川 フヂエ	8 9	岩屋川内
3. 2 0	坂本 はるか	5 5	大野
3. 2 1	田畑 幸寛	5 7	小田浦 5
3. 2 3	谷邊 稔	8 3	小田浦 1
3. 2 3	佐々木キヨ子	7 9	沖
3. 2 4	金 カネ	7 8	女島西
3. 2 5	宮下 鶴男	7 7	大川内南
3. 2 5	鶴川 武義	8 2	海浦 1
3. 2 8	鎌瀧 ヨシ	9 1	東告
3. 2 8	宮本 まゆみ	5 4	花岡西
3. 2 9	桑鶴 ミツエ	8 8	海浦 1
3. 3 0	桑原 ヤメ	9 9	芦北

※本町窓口へ届出を出された方で、掲載の承諾を得た方を掲載しています。

人口のうごき

(H21.4.1 現在)

() 内は前月比

人 口	2 0 , 5 4 3 人	(- 1 0 6)
男	9 , 5 9 0 人	(- 4 6)
女	1 0 , 9 5 3 人	(- 6 0)
65 歳以上	7 , 1 2 3 人	(- 1 2)
高齢者率	3 4 . 7 %	(+ 0 . 1)
世 帯 数	7 , 6 2 5 世帯	(- 2 1)

俳 柳

残月に満開の梅しらじらと

春愁や逝きし友らを偲びおり

留守の間の郵便受けによもぎ餅

恋猫の響む鳴き声春の闇

阿蘇牧野春を迎える野焼きかな

白鷺は個を好むのか親も子もはなればなれに餌をあさりいる

春はやく辛夷の白は鮮やかに雪積むごとくいま花ざかり

玄関にならべ植えたるすどい葉友に教わりひいらぎと知る

娘の病い食餌療法で軽くなりこれから先の見通しがたつ

三年間短歌教室なごやかに花や鳥へのいとしさも湧く

【町民講座短歌】

短 歌

山の木の芽だちのいろがとりどりに春の陽ざしに輝やいている

施設より見える田んぼに菜の花畑遠くに光る岬の海よ

野も山も施設の庭も咲きました「さくらさくら」と歌うがごとく

レンゲ畑に遊ぶは雀レンゲの花摘みつつ遊んだ幼な日おもう

自己流で考えながらそれぞれにベストを編んでプレゼントする

【田の浦荘短歌会】

芦北警察署からのお知らせ

※お問い合わせ

芦北警察署 ☎ 8 2 - 3 1 1 0

沿岸警戒活動にご協力を！

【沿岸犯罪の現状】

外国人の不法残留者（平成21年1月1日現在、法務省発表）は、1 1 万 3 , 0 7 2 人とされており、これら不法残留者は、我が国に在留すること自体が違法であるばかりでなく、その一部が凶悪犯罪を犯すなど、治安に大きな影響を及ぼしています。

【皆さまへのお願い】

皆さんのまわりで

- ◆特に夜間や未明に、漁船や貨物船から人目を避けるように集団で下船（乗船）する人
 - ◆身体、衣服に乱れがあり、沿岸付近をうろつくなど行動が不自然な人
 - ◆見かけない船が航行したり、普段接岸・停泊しない場所にいる
 - ◆海岸周辺に、保冷車やアルミバントラックが長時間駐車している
 - ◆見かけない不審な人がいる
- などを見聞きして、「おかしいな」と思われたら、いつでも結構です。警察への通報・1 1 0 番をお願いします。



「見たばい！ 聞いたばい！ 知っとるばい！」

芦北消防署からのお知らせ

火事と救急は1 1 9

※お問い合わせ

芦北消防署 ☎ 8 2 - 4 7 3 1

消防自動車等の緊急走行に対するご理解とご協力をお願いします

消防車は、被害を最小限にするため一刻も早く災害現場に急行し、消防活動を行ないます。

また、救急車は病気や怪我をした人に応急処置を行ない、速やかに病院へ搬送しなければなりません。緊急自動車（消防車、救急車等）はサイレンを鳴らし、赤色灯とライトを点け走行するように法律で決められています。

消防自動車等の円滑な緊急走行のために、以下のことを皆さんにお願いしたいと思います。

- ・消防自動車がサイレンを鳴らしながら、赤色灯をつけて接近してきた場合には、交差点内は避け、周囲の状況に配慮し進路を譲って下さい。
- ・緊急走行時にサイレンを鳴らすことは、法律で義務付けられていますので夜間等のサイレン音に対し、住民の皆さんのご理解をお願いします。
- ・通報時に「サイレンを鳴らさないで来てください」とお願いをされる方もいますが、法律で義務付けられているのでサイレンを鳴らさず緊急走行はできませんのでご理解ください。

町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



たんぽぽ
花がさき
わたしなり
風にのって飛んぷ
私も
いっしょに
飛をみたい

希望

うがりあ い お湯でホ

知

日光をたくさん
あびて育つ
野苺のように
ほくも大きく
生きたい



村上智枝子（菊池市）